



한청통신

韓 青 通 信

2009 年 1 月号

今号のラインナップ：新年のご挨拶 / 2009 年！新年の誓い！ / スノーフェスティバル 2009 特集 / 情勢 NEWS / 支部紹介「日々是はんちゃんー尼崎支部」 / 全国活動報告 / 今後の予定 / 編集後記

青年の力で『統一・和合時代』を導く！

새해를 축하합니다 !

희망 찬 새해를 맞으며 재일한국청년동맹을 대표하여 신년의 결의를 표명합니다.

昨年、韓青は「在日同胞の運命は、祖国と日本社会に深く結びついており、在日同胞の将来は、祖国統一を促進し、統一祖国と日本との互惠平等な友好親善関係を創造していく過程にこそ展望することができる」との観点から、さまざまな契機を活用して「統一・平和・和解」を幅広く訴えました。そうした実践を通じて私たちは「朝鮮半島情勢と日本社会状況の構造的なつながりによって、貶められてきた在日同胞自身が、逆に、その取り巻く環境を変えていくことで、全体情勢を変革することができる」という理念を学びました。

米国ブッシュ政権は対北圧迫政策を対話政策へと転換し、オバマ新大統領も「対話による外交を進める」という姿勢を見せています。

「米国の政策転換が一年以上も前に既定路線となっていたにもかかわらず、その進展を押しとどめてきたのは、米国政府の強硬派と連携した韓日両政府による巻き返し策動でした。こうした反転攻勢を打ち破ることが現段階における緊要な課題なのです。」（民族時報・09 年新年辞）

私たちは、昨年の実践で得た成果を土台に、反統一的で反同胞的なあらゆる政策に反対し、日本政府

の朝鮮半島政策を転換させるために全力で闘います。そして、その闘いの過程で、祖国の平和統一と在日同胞社会の和合を促進していく決意です。

来年は、いよいよ組織結成 50 周年です。

これまで、先輩方が築いてこられた“正義と真理に生きる韓青”“祖国・民族とともに生きる韓青”を、より一層の輝きで時代を牽引する存在にさせたいと思っています。そして何よりも、結成 50 周年を統一された祖国の下、和合された在日同胞社会で迎えたいと思っています。

そのためにも、「私たち青年の力で『統一・和合時代』を必ずや導く」という強い決意で、今年の闘いにのぞむ覚悟です。

私たち韓青の愛国運動が、在日同胞青年に夢や希望をもたらし、未来を開拓するものだという自負心を強く持ちながら、在日同胞青年の未来のために、民族の未来のために、祖国の未来のために、多くの同胞青年とともに、愛国愛族の道を力強く駆け上がっていくことを誓います。

みなさま方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げながら、みなさまのご健康とご多幸を祈念いたします。

在日韓国青年同盟 中央本部
委員長 文世賢



2009年! 新年の誓い!

新年を迎えるにあたって、全国の仲間から新年の誓いが届きました。
いずれもすがすがしい決意に満ちあふれています。。。



■ 愛知県本部 チョ ファミ

新しい年が明け、今年をどのような年にしたいかと考えながら、あらためて去年を振り返ると、それは私にとって今までの自分を見つめ直し、今後どのような人生を歩んでいくのかということに向き合う年でした。特に韓青活動においては、昨年12月14日に韓青愛知県本部が代行体制から定期大会を経て新体制となり、この大会を迎えるまでに経験したことや感じたことや考えたことは、今の私を大きく動かすものとなりました。

これまでの私は、何の違和感を抱くこともなく韓青に参加していました。しかし正直なところ、韓青活動をするということの確信を得ていない自分がいたため、だからこそ韓青愛知が代行体制となった時、「なぜ私は韓青活動を選択しているのだろうか? 今の韓青愛知の状況を一体どうするべきなのだろうか?」という悩みを抱えることとなりました。何をやっても上手くいかない、本部に人も集まらない……。本当に活動に対する意欲を失いかけてましたが、そのような時でも周りを見渡すと、そこには同志という存在がありました。本部のために、そこに集う仲間のために一生懸命になる愛知の同志たち。そのような素晴らしい同志と少しずつ一つのことをやり遂げ、少しずつ前進して行った時「私にも、私たちにも何か出来るのかもしれない」と、そう感じるようになりました。

そのような中で新しい仲間が参加してくれるようになり、彼らの生き生きと輝いた姿を見て、また「“南も北も私たちの祖国”という言葉は韓青で知り、とても共感しました」と言う盟員の言葉を聞いて、そして彼らと目標に向かって進めた時、私の中で不確かだったものが一つの線で繋がりと、確信へと変わりました。ここに集う仲間が抱えている悩みや思い、それはいわゆる在日同胞が抱える痛み。私も本名で生きてきた中で、たくさんの困難に出会いました。大切な仲間が、そしてすべての在日同胞が真の解放を勝ち取るためには、間違っていることには目を背けないこと、誤りを知った者にはそれを克服するために努める義務があるのではないだろうかということに気付きました。韓青は人に希望と勇気を与えてくれるということを、身をもって実感した時、韓青活動を自分の人生において運動として進めて行くのだと決意しました。

それを踏まえて、2009年、私は今の自分に足りないモノを積極的に吸収し、青年らしく、失敗を恐れず、そして隣の同志を愛しながら精一杯活動して行きたいと思います。このような思いに導いて下さった先輩方や同志に感謝の気持ちでいっぱいです。



この一年間を振り返ってみました。

一年前の自分を思い浮かべてみました。

約一年前、韓青神奈川のウリマル教室の講師として活動に務めることを決意しました。仕事に拘束されながらも、ただひたすら一つの「決意」を貫く為に教室に間に合わなくとも毎週水曜日は必ず顔を出していました。

私の「決意」。

それは在日コリアンとして生きることを意味を問い直させてくれた韓青の場で、今いる大切な同志、まだ見ぬ同胞たちのために、自分の持つ強みを活かし手助けをすることでした。

そして昨年の3月、韓青神奈川定期大会を契機に常任として務める事を決意し表明を伝えました。韓青神奈川の大きな節目となった大会の場で諸先生・先輩たちに暖かい激励を頂き活動への拍車がかかりました。

盟員だった時の自分と、常任として活動を開始した自分の決意はそう変わらないものでしたが、本部の柱を支える一部分になり幾度となく困難さを痛感しました。

ウリマル教室の参加者が減少し思うようにいかない。不安を抱きながらも日常活動は徹底しておこなう。参加者が一人や二人になったとしても、目の前の一人一人を大切に力を感じました。韓青に参加して自分が変わったように、神奈川の盟員が輝き変わっていく姿に支えられました。

不安のほとんどは取り越し苦労だと思い、苦労することを躊躇せずにやってみる姿勢を見せるようにしました。神奈川の日常活動のほかにもキャンプでの役員、東京の統一マダンでの楽器出演など、どれも初めてのことであったので苦労をして達成した分、不安がスッと消えていきました。

常任としての役割が自分を成長させ、また周囲の成長にも繋がりました。

周りを助けることは、周りの人のためでもあり、自分のためになることを知りました。

そして今、韓青神奈川の仲間たちと共に前進し創造できることは確かだと胸が高鳴る気持ちです。また全国の韓青の仲間達の思いを胸に、自分の決意と共に、来年も実りある一年になるように一歩一歩進んでいこうと思います。

炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

韓青生野北支部の委員長になって早一年が過ぎました。自称「ボス」になって、ボスらしいことはあんまりできなかったなあと反省する点多々ありますが、「支部の委員長って、こんなに楽しいものなのか！」というくらい楽しませてもらった1年だったなあと思います。支部という場所を守っていくことの大切さに改めて気づかせてくれた仲間、力不足の私を支えようと一肌脱いでくれる仲間、ウリマルの授業、支部が楽しいと毎週集まってくれる仲間、私と一緒に支部を盛り上げようと雰囲気を作ってくれる仲間、みんなのお陰で生野北支部は守られていることを実感しています。きっと、韓青全国にある支部の一つ一つがそこに集まる一人一人の存在が作っているかけがえのない場所なんだなあと考える今日この頃です。

もうすぐ韓青は50周年を迎えます。50年もの間、先輩方々が大切に守り続けてきた支部をこれからもしっかり守っていきたくて強く感じています。前々支部委員長に「委員長になって1年目はとりあえず何もできないけど、何とか支部を作っていく。2年目からが勝負というか、自分らしさが出せるんちゃうかな？」とアドバイスをもらっていたことを思い出し、「生野北支部がどんな支部になったら、みんなが楽しくウリマルを勉強したり、民族的な自分に出会えるかなあ、自分らしさを発揮した支部ってどんな支部かなあ」と真剣に考えました。水曜日は年に約50回しかありません。この50回という限られた貴重な時間をまずは大切にしたいなと思いました。雨の日や身体や心が疲れている日は誰でも気持ちが萎えてしまうものですが、「支部に来たらみんなに会える！楽しい気分になる！」「自分が知りたいことを教えてもらえる！」「相談したいことが相談できる！」「だから今日もやっぱり支部に行こう！」と思って支部に集まってくれる人が一人でも多くなるように、コツコツと努力していきたいと心に決めました。そうです、私の今年の抱負は「コツコツと努力する」です。

会社などの組織や個人でも、成長するためには、「天才」・「考え方」・「努力」、この3つがしっかりできているかが重要である、とある先生に教えてもらいました。「天才」は天から与えられた才能、つまり「自分らしさが発揮できているか」ということ。「考え方」はどの方向に、どのような方法で進んでいくのかということ。それに向かってどのように、どれだけ「努力」しているのか、という3つが成長には欠かせないポイントだそうです。今年は「努力」に焦点をあてて、頑張りたいと思います。

かんふうどう
康復堂 平山鍼灸治療院

〒984-0057
仙台市若林区三百人町179
Tel/fax 022-291-0064
E-mail nicakumi@m9.dion.ne.jp

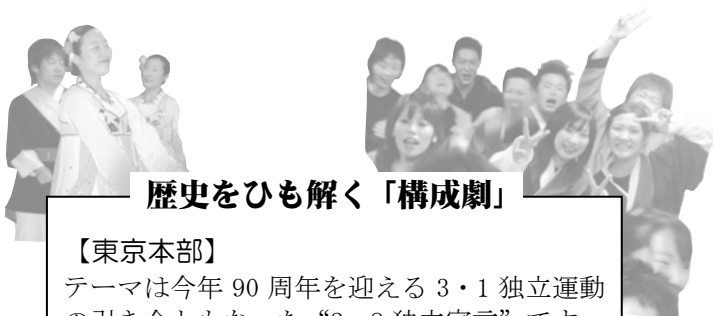
鍼灸師 申 孝 信

韓青の活躍を函館から応援します。

権 龍 夫
金 和 美



厳しい寒さが続くなか「第45回韓青全国冬期講習会・スノーフェスティバル2009」が目前に迫ってきました。ここでは全国から発表される文化発表を、特別に各本部から事前紹介していただきます！！



歴史をひも解く「構成劇」

【東京本部】

テーマは今年90周年を迎える3・1独立運動の引き金ともなった“2・8独立宣言”です。役者ぞろいの東京本部だけに、当時をイメージできる情熱的な劇を創り上げます。

独創的な「チュム(舞踊)」

【中部地協(愛知・三重合同)】

今回は両本部合同で、しかも男女に分かれての発表になります。自分たちで全てを構成するので、それぞれの“らしさ”を思う存分発揮します。美しく、雄雄しい舞いをみんなで踊りきります。

ファンタジーな「マダン劇」

【大阪府本部】

在日同胞が手をたずさえよう、という“和合”をテーマに鋭意製作中です。トラやブタなどユニークな登場人物、ユーモアにあふれたマダン劇を通して、民俗芸能の素晴らしさと私たちの主張を訴えます。

詩と映像で綴る「ノレ・アンサンブル」

【神奈川県本部】

様々な映像や詩を盛り込んで、テーマである“統一”への思いを歌います。初チャレンジの青年たちが多いのも大注目です。観衆は美しい歌声に魅了されること間違いなし！

迫力満点の「ブンムル」

【京都府本部】

どこよりも早く11月から猛特訓中。メンバーから積極的に意見が飛び交い、文字通り「参加者全員で作ったブンムル」に仕上がっています。若さあふれるブンムルにぜひご期待ください。

本領発揮の「ソルチャンゴ」

【兵庫県本部】

兵庫県本部では、「格好いい・魅せる」をモットーに練習に励んでいます。週末には、8時間にも及ぶ猛練習になってしまうことも。私たちの「こだわりのチャンゴ」に注目してください。

初挑戦の「サムルノリ」

【広島県本部】

初心者が多くつたない面もありますが、韓青らしい活き活きとした文化発表を準備中です。多くの人に感動を与えられるよう頑張りますので、ぜひぜひ期待してください。



トンイル

1970-77 韓青広島県本部委員長

韓統連副議長

郭 秀 鎬

賛助広告を募集しています！

50mm×90mmのスペースに賛助広告を出していただける方を募集しています。詳細は直接お問い合わせください。

●韓青中央「韓青通信」編集部

TEL. 0120-734-101



情勢NEWS

＜李明博大統領の新年辞と

今年の闘争課題＞

新年を迎え、李明博大統領が新年の国政演説を行いました。そこでは、国政運営の4大基本方向（①非常経済政府の構築 ②民生に気を配る温かな国政 ③先進一流国家に向かう中断なき改革 ④グリーン成長と未来への準備）を提示する一方、南北関係については「北韓は、これ以上私たちの真心から顔を背けず、協力の姿勢で出てきて欲しい」と述べながら、「毅然としながらも、柔軟に解決していく」と語りました。

私たちは、この発言に違和感を覚えます。

李明博政権が出帆して以来、「非核・開放・3000」を対北政策のスローガンとして掲げ、南北関係の最上級の指針である6・15共同宣言や、その具体的な実践綱領である10・4宣言を否定してきたのは南側政府でした。そればかりか、昨年一年間に多くの統一人士が国家保安法によって監獄に放り込まれました。

そもそも、李明博政権の「非核・開放・3000」の前提条件であった米国ブッシュ政権の対北圧迫政策は政権末期になってから、対話政策へと政策転換されました。さらに、オバマ次期大統領が「軍事だけでなく対話による外交を進める」という姿勢を見せています。

にもかかわらず、なおも対北強硬政策を「毅然としながら」進めていこうというこの姿勢のどこに「協力の姿勢」と「柔軟な解決」があると言えるのでしょうか。

そのような南側政府の姿勢に対して北側の共同社説（※）は「ファッショ独裁時代をよみがえらせ、南北対決に狂う韓国執権勢力」と激しく非難しています。



一方で「朝鮮半島の非核化実現」という表現を初めて盛り込み、「われわれに友好的に接するその国々との関係を発展」と表現するなど、オバマ米新政権との交渉を意識した姿勢がうかがえます。

民族時報の新年辞でも指摘されている通り、「米国の（政策）変化は、李明博政権や日本政府にも根源的な政策転換を促進していくことは間違いありません。」と同時に「自動的に韓国や日本政府の政策転換を導く」ということを意味するものではありません。

今年は、朝米関係が劇的に好転する可能性がある一方で、旧来型の対北政策にすぎる現在の韓国政府や日本政府に対して、東アジアの平和と安定、朝鮮半島の平和と統一を願う民衆たちとの昨年以上に過酷でし烈な闘いが展開されることでしょう。

特に、李明博政権に対しては国家保安法の乱用を止め、6・15共同宣言や10・4宣言を実践させることが焦点となるでしょう。

私たちも、そういった闘いを力強く進めていくことで、閉塞している南北関係を改善したいと思いません。そして、その過程や結果で在日同胞社会の和合をもっと推し進めなくてはなりません。

※共同社説とは、朝鮮労働党と軍と青年組織の機関紙（「労働新聞」「朝鮮人民軍」「青年前衛」）の主要3紙が毎年共同で載せるもので、年間施政方針を示す。

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.4 兵庫県本部 尼崎支部

韓青通信をご覧の皆様アンニョンハセヨ？今回は、兵庫県本部尼崎支部の紹介をさせていただきます。にぎやかな尼崎支部の様子を想像しながらご覧になってください。

☆尼崎支部って？



現在、兵庫県本部には、西神戸支部と尼崎支部と二つの支部があります。その中でも尼崎支部は、尼崎市、西宮市、宝塚市、芦屋市など、いわゆる阪神間の地域を対象としており、そこに集まる盟員たちも、自然とそれぞれの地域から、広く参加しています。

そんな尼崎支部の入り口がこちら！「韓国語教室」看板がドスがきいていて、良い感じです。初めて訪ねる同胞青年も、決して場所を間違えようのない存在感です(笑)。入り口の鉄の扉が若干怖いですが・・・それさえ乗り越えれば、めくるめく民族の空間が待っています！

奥に見える支部の入り口。錆びた鉄の扉・・・怖い・・・！？
いえいえ！「来るもの拒まず」の優しい扉です

☆ウリ文化を満喫。。。



なんだか散らかっていますねえ。いつもは片付いています！
こんなところを写真に撮ったのは誰だ～!!! コラ～!!
と思ったら、犯人は本部委員長でした(笑)

また、尼崎支部では、「文化は食べ物から」ということで、朝鮮料理を食べる「モゴモゴの会」も開催しています。難しい理屈抜きに、とにかくうまい！おいしい！美味なウリ民族の料理を胃袋に刻みつけ、盟員たちはさらに民族に親しくなります。もちろん、基本のウリマル学習会も充実。毎週楽しく実践的な授業を行っています。

尼崎支部に入ると、いきなり目に付くのが、あふれんばかりのチャンゴ、チャンゴ、チャンゴ！そう、尼崎支部では楽器が盛んなのです。本部主催のチャンゴサークルを尼崎支部近くの会館で開催していることもあります。尼崎支部はとにかくチャンゴ好きが多い！好きが高じて国内で自分のチャンゴを購入した「チャンゴ中毒」な人たちも多く、ここに並んでいるチャンゴの多くも個人所有の「マイチャンゴ」たちです。



顔より大きなチヂミを片手に満面の笑みでハイ・ポーズ！
「可愛すぎます！」(by委員長) この日は「キンパブ」と「チヂミ」を作りました。作った後は皆で楽しく食べました！尼崎支部は色気より食い気のようなです(笑)

☆定期大会で新たな出発！

そんな元気な尼崎支部ですが、昨年12月に定期大会を開催し、一年間の代行体制を経て正式に新執行部を立ち上げ、決意を新たに新年を迎えました。それでは最後に、新委員長のクォン・イへさんに意気込みを語っていただきたいと思います。

韓青通信をご覧のみなさまアンニョンハセヨ？

尼崎支部では、「人に優しく、仲間を大切に、30年後もお酒を酌み交わす仲でいよう！」という思いを方針として掲げています。

個性的な仲間ばかりの支部をまとめるのは非常に大変ですが！？日々楽しく活動を行っています。今後は日常活動に留まらず、支部独自の活動スタイルを模索しながら、地域同胞青年が気軽に参加できる“民族のマダニ”を目指します！支部で出会った、そしてこれから出会うすべての人は私の大切な同志であり、仲間であり一生の親友です。支部の皆も思いは同じです。もし、近くに立ち寄られた際はぜひ遊びにいらしてくださいね！尼崎支部の扉は“来るもの拒まず”いつでも開放しています！

尼崎支部委員長 クォン・イへ

活動紹介

愛知県本部と大阪府本部で定期大会開催！

愛知県本部（12月14日）と大阪府本部（11月16日）で定期大会が開催され、それぞれチョ・キルチュン委員長とキム・マギ委員長が新しく選出されました。

両本部とも「朝鮮半島と日本の互惠平等な関係にこそ、在日同胞の未来が展望でき、そうしてこそ日本社会の差別構造も是正することができる」という基調の下、6・15共同宣言と10・4宣言の実践や組織強化を通じて「統一・平和・和解」の時代をきりひらくという方針が採択され、大会に集まった全国の同志たちとともに「南北の分断、在日同胞と祖国との断絶、差別による在日同胞と日本人との断絶、無知という歴史からの断絶、個人主義という社会との断絶を“結びつき”に変えなくてはならない」と強い決意を共有しました。

また、大阪本部では約20年間の常勤活動で韓青運動を牽引してきたコ・スチュン前委員長が、後輩たちへあたたかい激励と声援を残し、定期大会を機に韓青活動を卒業しました。

大会終了後のレセプションでは、参加者たちが今後も大きく熱く自主・民主・統一活動を行い、より一層韓青を発展させていくことを誓い合いました。

各地で成人祝賀会&新年会

韓青全国では毎年一月の中旬には新年会と成人祝賀会を開催しています。この編集段階では、まだ開催されていない地域もありますが、開催された地域からの報告をお伝えします。

近畿地協では各本部それぞれの単位で開催し、「ウリマル書き初め」で新年の抱負を民族的に共有したり、「ビンゴ企画」や「心理テスト」など趣向の凝らされた企画では、参加した同胞新成人を中心に大いに盛り上がりしました。

関東地協では、学生協とともに東京本部と神奈川県本部で実行委員会を結成して、大勢の参加者とともに同胞新成人の門出を祝いました。主催者あいさつでパク・ミョン Chol 東京本部委員長が、「成人を機に『民族と向き合うこと』『民族的に生きること』の大切さをより一層深く感じ、勇気を持って実践して欲しい。韓青はそれを全力でサポートします」と韓青らしい(?) エールを送りました。ほかにも様々な企画を通じて、参加者たちの交流を深め、関東地協の更なる飛躍を誓い合いました。



関東地域成人祝賀会の模様



Pick up

- 12/21（日）「韓青兵庫県本部尼崎支部第2回定期大会」開催され、クォン・イヘ新委員長が選出されました。
- 12/23（休）東京本部がクリスマスパーティーを開催し、多くの同胞青年が交流を深めました。
- ◎1/25（日）中部地協による「成人祝賀会&新年会」を開催します。場所：愛知県青年会館／開始 13:00／参加費 3,000 円 ※新成人は無料
- ◎2/6～8（金・土・日）「第45回韓青全国冬期講習会」を開催します。（詳細は別途）

編・集・後・記



セヘ ポン マーニ バドウセヨ。2009年も明けてはや半月がたとうとしていますが、皆様は正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？ 今年、アメリカが政権交代し、日本でも政局は予断を許さない状況となっています。一方で、慢性的な経済不安はいっそう悪化の一途をたどっており、どこを見ても不安がそこかしこに……といった、状況です。そんななかだからこそ、これから韓青活動をバリバリガンバルぞ！ といった明るく、積極的な仲間たちの声を集めてみました。厳しい状況の中ですが、少しでも元気を分かち合えれば幸いです。ではでは、今年も韓青通信のご愛読のほど、よろしくお願いいたします。（俊）